

1. 将来都市像

総合計画が目指す将来都市像（10年後のまちの姿）の考え方を示す。

- 伊勢原市は、昭和46(1971)年3月、伊勢原の伝統に輝く誇りと自覚をもって風格と調和のとれた都市づくりをめざして市制施行を宣言してから、これまで5次にわたる総合計画において将来都市像を掲げ、総合的かつ計画的なまちづくりを進め、市民福祉の向上に取り組み順調に発展してきました。
- 第5次総合計画では、将来都市像「しあわせ創造都市いせはら」の実現を目指し、「暮らし力」「安心力」「活力」「都市力」「自治力」の5つの力を「未来へ届ける力」と位置づけ、相互に連携しながらまちづくりを進めてきました。
施策の展開にあたっては、豊かな自然や「日本遺産」認定、伊勢原大山インターチェンジの開通など、本市の持つポテンシャルを生かした取組を推進するとともに、まちの魅力を積極的に発信することで多くの成果を得ることができました。
- 他方、少子高齢化に伴う社会保障費の増大、気候変動に伴い多発する自然災害、老朽化した公共施設への対応、さらには、新型コロナウイルス感染症への対策など、不透明な財政状況の下、厳しい市政運営を迫られています。
- こうした中、私たちは、これまでのまちづくりを尊重し、先人から受け継がれた大切な「ふるさと伊勢原」を確実に将来世代へつなげていくとともに、時代の潮流や市民の想いを踏まえ、新たな時代を見据えた持続可能なまちづくりを進めることが必要です。

そのため、本市の特性や個性、まちづくりを取り巻く環境変化などを的確に捉え、いせはらの未来へ向けて、長期的な視点に立ち、本市がめざす**新しい将来都市像を描いていくこととします。**

<【参考】本市のこれまでの将来都市像>

計 画 名	将来都市像
伊勢原市総合計画 昭和47(1972)～昭和56(1981)年度	光と緑あふれる住みよい都市
伊勢原市第二次総合計画 昭和57(1982)～平成3(1991)年度	光と緑あふれ人間性豊かな活力ある都市
伊勢原市第三次総合計画 平成4(1992)～平成14(2002)年度	ふれあいのまち 健康・文化都市いせはら
いせはら21プラン 平成15(2003)～平成24(2012)年度	「ともに歩む自治」「明るい暮らし」 「活力あるまち」「快適な都市」
伊勢原市第5次総合計画 平成25(2013)～令和4(2022)年度	豊かな自然に包まれ みんなの力が次代 を拓く しあわせ創造都市いせはら